

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			・コロナ禍では、活動のグループ分けや食事の際は各部屋に分散させる等、密とならないように工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	1		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2		3	・玄関前のスロープにて車椅子対応可であるが、活動場所を2階（手すりあり）とすることもあり、受け入れ対象者が限定してしまう。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	1		・社内研修の「目標研修」を実施し、事業所の理念を決め、振り返りの機会を作っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			・アンケート集計後に職員間で課題について検討し、業務改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2	2	第三者委員会の設置はしていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			・社内研修や外部研修（動画配信による研修を含む）の機会をつくっている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3		2	事業所にて標準化されたアセスメントツールは使用していない。保護者からのWISC-IV等の検査結果を参考にしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3		2	活動ごとに基本の担当者を設けているが、よりよい活動とする為、都度職員間で検討し、アイデアを出し合っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			・曜日ごとに活動をかえ、その活動も子供達の課題に合わせて対応している。 ・複数の職員が担当する事で内容が固定化されない様、より良いものに改善していきたい。

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
適切な 支援の 提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			・休日・長期休暇は、食育や外出などの四季を感じられるレクを企画し、平日で体験できないルール、マナーを支援する機会を作っている。 ・外出レク時には利用者と職員共通の達成可能な目標設定をし（信号を目で確認して渡る等）課題の意識付けを図っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			・日々の記録や保護者と共有した情報などから利用者の状況を把握して行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			・支援前に活動内容の確認、最近の利用者の様子、留意すべきことなど、全体で確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			・半年に1回実施している保護者面談（コロナ禍にて実施できない期間もあった）実施で保護者への聴き取りの他、本人・相談員からの聴き取りや、ケース記録の情報を基に課題の整理を行い、個別支援計画の作成に努めている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			
関係機 関や保 護	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5			・下校時刻や学校行事の確認や利用者の様子等、必要に応じて連絡のやり取りをしている。
	22	（医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合）子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	3	1	・医療的ケアの必要な利用者はいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	3	1	・基本は相談員からの情報提供のみだが、3月に次年度利用予定の利用者の移行会議に参加、情報共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2	1	今後卒業する利用者がいた場合、本人のサービス移行がスムーズに行えるよう、相談員を介して働きかけていきたい。

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5			専門機関主催の研修は都度参加しているが、直接のやりとりは行っていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		1	4	・学童を併用している利用者が在籍している為、連携を図る必要があるが、障害の理解と言う点で実施が難しい状況。 ・学童職員向けの研修「放デイの仕組みや対応の仕方」をテーマに職員が登壇し、支援者目線で障害を持つ児童の相互理解を図る機会を作った。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		2	3	参加していない
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4		1	・事業所で有効であった支援方法について、適宜助言している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2		3	・コロナ禍により保護者交流の忘年会、茶話会を中止した。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			月便りの発行。不定期で連絡事項を紙媒体で発信している。
	35	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	5			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			・利用者によって伝わりやすい方法（言葉だけでなく絵や文字等）で伝えている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	2	行事はコロナ禍により実施できず。活動報告として年度末にお便りを配布する予定。	

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2		<ul style="list-style-type: none"> 策定しているが、保護者への周知はされていない。 災害時の避難場所や感染症についての内容をまとめたプリントを配布して職員・保護者感で周知・共有している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			火災、地震、水害を想定した避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			虐待防止委員会を設置し、虐待防止研修を年間計画に盛り込み実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> 今年度より身体拘束適正化委員会設置。 現在、身体拘束を必要とする利用者がいないが契約時にその旨を追記し十分に説明を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> 医師からの指示を保護者より聴き取りし、アレルギー対象物を取り除く、提供しない等の対応をとっている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			ヒヤリハット事例集の作成をした。今後検討会を実施する予定である。